

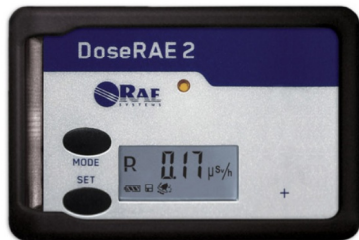


品川区でも

放射線測定機器の区民貸し出し

「貸し出しはやらない」が一転、「2月13日から受付開始」へ

区民に貸し出す放射線測定機器
(DoseRAE2・PRM-1200)



サイズ 横85mm×縦55mm

- ◆貸出は2月15日から3月30日で1人1回1日間(土日も可)。予約受付は2月13日9時から5時。下の予約専用で予約の上、区役所4階環境課へ。
- ◆予約専用電話TEL5742-6581(2月13日以降につながります)
- ◆詳細は2月11日付「広報しながわ」、区ホームページ「東日本大震災関連情報」「放射線量等に関する情報」にも掲載中。貸し出しは無料です。

「測定器の個人への貸し出しを行う考えはない」と測定器貸し出しを求める区民や共産党の要望に、品川区はこのように説明してきました。しかし、放射線測定の実施を求める運動が力となり、「区民の不安の解消のため」と測定器の貸し出しが始まることになりました。貸出方法は左をご覧ください。

あわせて保育園と学校の給食について放射性物質測定の見直しも強化。放射線測定に否定的だった品川区の姿勢を大きく動かすことができました。

品川区でも測定器貸付が始まりました。23区中では5番目の実施となります。

原発事故以降、「自分の家の前を測定して欲しい。子どもが小さいので心配です」「測定器は高額で購入は難しい」との声が多く寄せられました。

共産党は独自測定を行うと共に、区に放射線量の測定実施と公表、区民への測定器貸し付けなどを求めてきました。裏

―表面の続き―
品川区は当初、放射線量測定はとも否定定的。これを変えたのが父母らと共産党の共同の力です。

あるお母さんは「学校で放射能への心配を話すと保護者の中で孤立しそうで、むしろ不安を口にする空気が怖かった。でも子ども将来を考えると親として何がしなければ…」と複雑な胸の内を話してくれました。

共産党はこうした不安や“声なき声”を受けとめ、区議会で区に測定実施を求めました。

はじめ区は、放射能測定の徹底について「ホットスポット探しのよう測定は、

風評被害を広げるのでやらない」と説明。

また給食食材測定は「安全が確認されたものが流通している」と拒否。測定器貸し出しも「考えていない」との説明でした

(昨年9月の本会議)。
区の姿勢を変えた

きっかけは保護者らの測定実施を求め署名運動。運動は大きく広がりに区議会ですべて一致で採択されました。こうした運動が力となり区の姿勢を変えさせ、ホットスポット測定と結果公開、給食食材の測定と強化、測定器貸し出しが始まったのです。これからは力を合せ子ども内部被曝対策を強めましょう。なかつか亮

学校・保育園における給食食材の放射線量検査体制が強化

区立の小中学校と保育園の給食食材について、品川区では昨年11月21日から放射線量測定が始まりました。平成24年度は検査対象と測定頻度が強化されることになりました。紹介します。

今まで

測定は保育園と小中学校を毎週交互に1園(校)づつ。月曜日の献立からメインになる食材5品目を抽出。公表は区ホームページで発表。

これから(24年度)

今までの5品目から、給食1食分(調理済みの主食・主菜・副菜・汁等の全食材)の放射性物質検査に変更。測定頻度も毎週、保育園5園・学校5校程度に改善。これにより年間で、保育園・学校ともに一園(校)につき4~5回程度。原則として月曜日に提供する給食を対象とし、その結果を金曜日に区ホームページに公表されます。

検査体制が強化され、測定対象とテンポを改善させることができました。

原発いらない!品川パレードPART II

3月20日(火・祝日) 11時集合/大井中央公園までパレードします/主催:原発いらない品川パレード実行委員会(新婦人など) /詳細は後日…
なかつか亮

催物

あんない

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

2月17日(金) 午後6時~8時 場所:日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼:区議控室5742-6818 夜:事務所3773-3231